

8. 3D動画の編集

杉山 拓祥

1. 研究概要

3D映像撮影班が撮影した3Dの映像を実際に使えるように編集・エンコードして動画編集ソフトの使い方を学ぶ。

2. 研究の具体的内容

(1) 動画をPCに取り込む

富士フィルムのFinePix Real 3D W1で撮影した動画をPCに取り込む。このファイルは2つの映像をひとつのファイルにまとめられた特殊なファイルだが、AVI形式なので普通のプレイヤーでも見ることができる。

※ただし、どちらか1つの映像しか再生できない。



図1 FinePix Real 3D W1

(2) ファイルをソフトに入力

取り込んだ後はステレオムービーメーカーというソフトに入れる。このソフトは3D撮影可能なビデオカメラで撮影した映像から、色々な形式のステレオムービーを作成し、再生するソフトである。簡単にステレオムービーファイルを作成することができるので使用した。

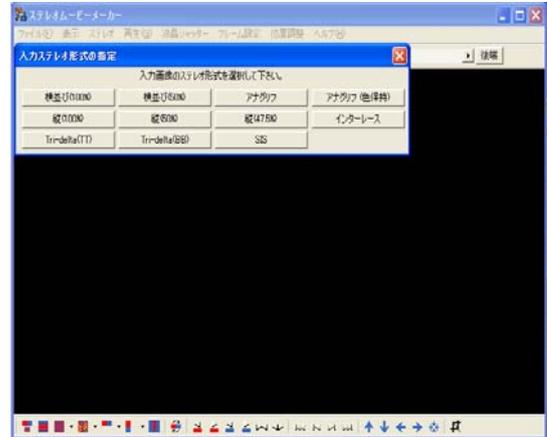


図2 ステレオムービーメーカーに入力

(3) ここで出力する方式を選択

・横並び方式

これは本などに使われている方式で特殊な道具を必要としない。寄り目をする事で左右の別々な画像を自分の脳内で一つの画像にすることで画像が飛び出して見える。



図3 横並び方式

・アナグリフ方式

これはもっとも一般的な立体視の技術で、誰でも簡単に3Dを体感することができる。必要な器具は最低限、赤のセロファンと青のセロファンのみでできる。あとは3Dにしたい動画や画像を専用のソフトで赤と青の2つに分ければ3Dで見ることができる。

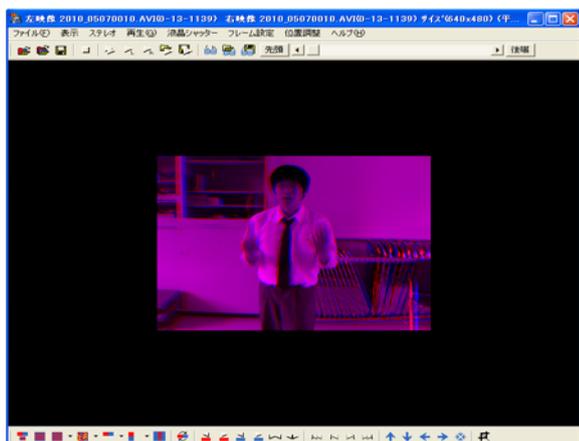


図4 アナグリフ方式

・偏光フィルター方式

これは以前人気のあった映画のアバターでも用いられていた方式で、この方式は色がきれに見える。アナグリフ方式では赤青にししか見えないので最近ではこれが主流になってきている。しかし、この方式では専用のメガネにシルバースクリーンという高価なものが必要となってくるので一般人には少し敷居が高いというのが特徴である。



図5 偏光フィルター方式

(4) ファイルに出力

使用するファイル形式を選んだあとは、aviファイルに出力する。出力が完了したら最後にステレオムービーメーカーでうまく変換や編集ができていないか、確認する。

3. 研究のまとめ

3D映像の入っているファイルは普通のプレイヤーでは再生することができないことが分かった。

ステレオムービーメーカーの使い方を知ることができた。

動画を編集し作成する楽しさを知ったのもっと編集していきたいと思う。

ちなみに・・・

撮影した動画を再生し、確認するだけなら同じ作者が作っているソフトの「ステレオムービープレイヤー」が便利で手軽である。

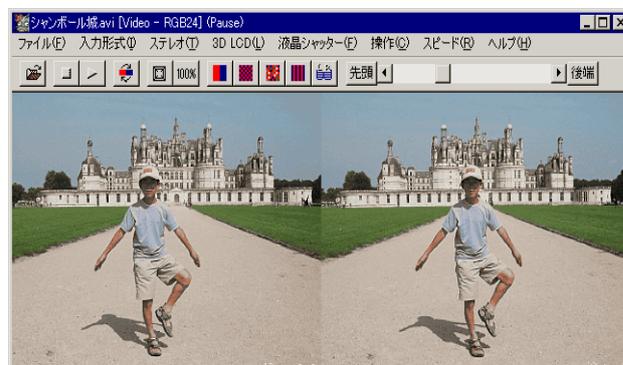


図6 ステレオムービープレイヤー

参考文献

・「むっちゃんのステレオワールド」
<http://stereo.jpn.org/jpn/stvmkr/index.html>